



子どもたちのアトラクションに笑顔(釈迦内地区)

## 各地区で敬老会 (9月2日)

9月1日の上川沿と片山地区を皮切りに、市内各地区で敬老会が開催されました。

この日は釈迦内公民館で釈迦内地区の敬老会が開かれ、264人が出席。

参加者の長寿を祝おうと、地元園児たちのかわいらしい遊戯や婦人会の踊りなどが披露され、会場は和やかなムードに包まれました。

## 下水道展 (9月8日)

いとく大館ショッピングセンターを会場に、今年で20回目となる下水道展が開かれ、約550人が訪れました。

この下水道展は、下水道の働きや仕組みを広く市民に知ってもらおうと毎年開催しています。

来場者はパネルで分かりやすく解説された下水道の仕組みを読んだり、相談コーナーで質問したりして、普段あまり意識することのない下水道の世界を勉強していました。



たくさんの方が来場しました



子どもみこし

## 大館神明社祭典 (9月10日、11日)

五穀豊穡<sup>ほつじょう</sup>、商売繁盛、家内安全を祈念して、大館神明社祭典が行われ、各講の曳山車15台と子どもみこし9台が市内を巡行しました。

雨に見舞われることが多いため「雨祭り」とも言われる神明社の祭典。時折強い雨に見舞われましたが、各山車は威勢の良い掛け声とともに市内を練り歩きました。

本祭の11日には、大町会場で「山車見世」やフィナーレを飾る「祭典祝い水」が行われ、詰め掛けた見物客を魅了していました。

※山車は「だし」とも読みますが、大館では「やま」と呼んでいます。



山車合同運行



軽快な囃子のリズム



祭典祝い水

## 田代地域で祭典 (9月16日)

田代地域で神社の例大祭が行われ、威勢の良い掛け声とともにみこしが町内を練り歩きました。

出口町内では、子どもみこしが稲荷神社から出発、子どもたちの「ワッショイ! ワッショイ!」という掛け声に、見ていた人から拍手が沸き上がっていました。

また、岩野目町内では、みこしの担ぎ手に、各家々の前でお神酒やお供え物が振る舞われるなど、秋の祭りを盛り上げていました。



出口のみこし



岩野目のみこし